



[本校] 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1
tel. 025-239-3111 fax. 025-239-3690
[新潟中央キャンパス] 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7-1169
tel. 025-227-7111 fax. 025-227-7117
http://www.nuis.ac.jp somu@nuis.ac.jp

平成27年 9月25日 発行

貴重な体験に緊張 就職戦線に備え

学外実習・インターンシップ

2・3面

タイから初めての研究生迎える

中国語コンテスト世界大会に初出場

6・7面

〈紅翔祭〉10/10 (土) 11 (日)

文化講演会に漫画家・俳優の蛭子能収氏

編集部では表紙を飾る写真を募集しています! 投稿方法は nuischannel@nuis.ac.jp までお問い合わせください。次回テーマは「新春」

「稲穂と越後線」
PHOTO:五十嵐 靖征

CONTENTS

2・3面

3大学でキャリア育成合宿
9月卒業式6人の門出を祝福

4・5面

県警サイバーボランティアに2学生活躍
オープンキャンパスにぎわう
ズームアップ研究室
サークル紹介「アルビレックスプロジェクト」
新任教員紹介

6・7面

ロシア語スピーチコンテストで大活躍
ハバロフスク市文化団と交流
本学HPに「留学体験レポート」新設
平成28年度入試日程
(推薦・帰国生・外国人留学生・社会人)

8面

紅翔祭 10/10・11 案内特集
入試相談会
ゲストライブショー
みずき会餅つき大会
みずき野西自治会文化祭



NUISホームページ
<https://www.nuis.ac.jp>
(スマートフォン対応)



Facebookページ
<https://www.facebook.com/nuis.face>



LINE@
[@nuis-line3111](https://line.me/tv/nuis-line3111)

LINEの「友だち追加」から「ID検索」で登録

タイの タマサート大学

海外での実習を選んだのは、自分の英語能力を向上させたいという理由でした。実習の内容は「ビジネスゲーム」を使った授業のアシスタントを務めるというもの。最初は実習の内容にはまったく興味がなく、「ビジネスゲーム」という世界に関わるのもほとんどこの実習が初めてでした。

授業のアシスタントを務める前に、ビジネスゲームの学会に参加しました。私が参加した学会は今年8月8日にタイのトンブリー大学で開催された「ISAGA2015 SUMMER SCHOOL」と、10日にスリワットナ大学で開催された「THAISIM2015」という二つの学会でした。ビジネスゲームに関しての知識、興味が無かった私にとってこの学会への参加はビジネスゲームへのパッションをつけるきっかけとなり、ビジネスゲームの本質を学び、理解できたというところが一番大きな収穫でした。また、この学会にはオプザーバーとしてではなく、オーガナイザーとして参加し、学会の運営に携わることができました。

ビジネスゲームの事業を補佐

情報システム学科3年 小泉 祥吾

した。主な業務は生徒の質問への対応。ビジネスゲームのルールに関する質問が非常に多く、生徒の質問は授業の合間の休憩時間にも続きました。学会に参加し、オーガナイザーとして運営を行い、自信をつけた私にとって授業のTAはそれほど大変なものではありませんでした。ビジネスゲームを世界へ発信して一つの分野として確立させたいといった明確な野心を持ち、ビジネスゲームに関する知識もあつたので、教える生徒は私より一学年上でしたが、TAとして生徒より一区画上の立場としての振る舞いをすることができました。



左が小泉さん



中央が熊倉さん

新潟県農協 電算センター

私がJA新潟電算センターを実習先に選んだ理由は、情報システムで新潟県の農業を支えるという点に魅力を感じたからです。私は、地元で自分の得意な情報処理技術を発揮できる仕事に就きたいと考えていました。そこで、JAグループの情報システムを担うセンターに実習を希望しました。

実習では、6部署と監査室の全ての部署から、各部の業務内容の説明や研修などをしていただきました。開発部でのプログラミングの演習では、新人社員の

情報処理技術を地元で発揮

情報システム学科3年 熊倉 明日香

方々からご指導いただき、実際に開発部で使われているプログラミング言語のSQLとC#の演習を行いました。演習内容は少し難しかったですが、分かりやすくご指導していただけたので最後まで演習課題に取り組みることができました。また、運用部での業務体験では、実際に運用部の方々が仕事をされているデスクをお借りして、研修を行う機会がありました。会社の雰囲気というものは、入社してからでないと感じることでないかと思っていたので、学外実習で実際の会社の雰囲気を感じることができて、とてもいい経験になりました。

今回の実習では、多くの方々から貴重なお話をたくさん聞くことができました。就職活動はまだ先だと思っていました。今回の実習を終えて、やるべきことが多くあることに気付きました。今回の実習で学んだことや考えたことをさらに調べて、就職活動が始まるまでに知識や考えの幅を広げていこうと思いました。

9月卒業式 新たな決意で 6人巣立つ

本年度の9月卒業式が9月16日、本校大会議室で行われ、6人（情報文化学科3人、情報システム学科3人）が平山征夫学長から学位記を授与されました。

学長は式辞で「この大学での学びが、いつか必ず役立つときが来ます。皆さんには無限の可能性があります。社会人になっても常に学ぶ姿勢を忘れない、これからの人生を歩んでいってほしい」と前途を祝福しました。

式典には、星野理事長をはじめ白井情報文化学部、佐々木国際学部の両学部長ら関係教職員が出席し、社会人としての門出を激励。卒業生たち（式典参加5人）は気持ち新たに、それぞれの目標に向かって元気に巣立っていきました。



貴重な体験に緊張感

長岡市
スポーツ協会

今回インターンシップに参加するにあたり、自分自身が小学校から高校までスポーツに打ち込んできた経験が生かせると考え、公益財団法人長岡市スポーツ協会を選びました。実習期間は5日間という短いものではありましたが、豊富な実習内容により日々成長を実感できるものでした。

実習内容としては、体育館利用者の窓口対応、トレーニングジムでの利用者対応、書類作成、各種スポーツ教室の受講者対応などがありました。

なかでも、スポーツ教室でのお子さんや高齢者の方々とスポーツを通して触れ合う機会が何より印象に残っています。私は子どもが好きですが、いざ接するとなると恥ずかしさや緊張から、自分をうまく表現することができなくなってしまうがちでした。そのような中、職員の方から「相手を楽しませたかったらまず自分が楽しめ」という言葉をいただきました。

最初はやはり緊張してしまいうまくいきませんでした。時間がたつていく中で「自分が一番ここで目立って楽しんでやる」という気持ちに切り替えたとき、初めて利用

「まず自分が楽しめ」を実感

情報文化学科3年 樋口 陽介

者の方と私の間に笑顔が生まれ、その瞬間は自分自身一皮むけたと身に染みて実感できるものでした。

また、実習を通して社会人としてのマナーもたくさん学びました。失敗することもありましたが、真摯に反省し改善していく力も身に付き、信頼を築き上げることの難しさと大切さも学ぶことができました。

この経験を生かし、これからの学生生活、また、就職活動に励みたいと思っています。



右が佐藤さん

ホテル
日航新潟

私は8月11日からホテル日航新潟でインターンシップ研修を行ってきました。仕事内容としてはレストラン業務ということで、7日間準備作業から客席を回る仕事まで、多くの仕事を教えていただきました。その中で、常にお客さまのことを第一に考え、緊張感を持って素早く仕事を行っていたことが心に残っています。お盆という一年で最も忙しい時期に

脇役に徹した振る舞い学ぶ

情報文化学科3年 佐藤 帆乃佳

研修をさせていただき、初日に「お客さまの見えない裏では戦争」とおっしゃっていたことを、身を持って感じました。

また、ホテルではお客さまが主役で、脇役に徹した振る舞いが必要ということ、髪型、化粧など、身だしなみに気を付けました。慣れないパンプスで1日中仕事をするということで、足が痛くなりましたが良い経験になりました。

お盆という時期の研究は大変でしたが、忙しい中で仕事ができただけでも貴重な経験になり、多くの面で成長できたのではないかと思います。お忙しい中、たくさんの方々に優しく教えてくださった社員の皆さんに感謝しています。ありがとうございました。インターンシップで感じたこと、成長できたことを、今後の就職活動につなげていきたいと思っています。

3大学でキャリア育成合宿

「元気よく目立とう」をテーマに

社会人基礎力をアップ

キヤリア育成合宿が9月1・2日、新潟市西区のメイワサンピアで行われ、新潟青陵大学と同短期大学部の8人と本学学生33人の、合わせて41人が参加しました。今年度は「元氣よく目立とう」をメインテーマに、社会人基礎力を高めることに重点を置き、特に会話力と主体性を中心に学べるプログラムを組みました。

この合宿は、企業訪問や社会人との交流を通して人間力を高め、他大学の学生と目的意識を共有する合同合宿で、学生一人ひとりが大きくキャリアアップできることを目的に平成25年度より実施しています。

今年には11事業所(民間10社・公1社)の協力をいただき、1日目はグループワークや企業訪問で働く現場を見学、2日目にはグループディスカッションや企業の方々との情報交換座談会を行い、仕事の上でのやりがいや、求める人物像などについて多くの質問があり、積極的に学ぼうという姿勢が見られ有意義な交流会となりました。また、みずき野本校に隣接するラムサール条約登録湿地「佐潟」を散策し、地元の自然環境や文化を学ぶ時間も採り入れた



參加企業名(順不同)

とができました。

ホームセンタームサシ

(株)アーケアドサカモト

(株) ウォルタ

(株)大光電機

(株)新島ブランドホテル

(株) 産サティオ新島

株) マルト長谷川工作所

新潟県警察本部

北新越木一ム(株)

モトーレンニイガタ(株)

リコー
ジャパン
(株)

オープンキャンパスにぎわっ

平成27年度のオープンキャンパスが、7月19日、8月2日、9月6日の3回本校で開催されました。今年度も無料往復送迎バスが十日町、高田、長岡、村上、加茂、五泉、新津より運行されるなど、延べ600人を超す高校生や保護者の方々が参加していただきました。

600人超が参加
実験体感コーナーなど人気

高校生と保護者の方々とを最終サポートし、模擬講義やキャンパスツアーの案内をしました。「語学体験（英語・ロシア語・中国語・韓国語）」や「ビジネスゲーム体験」「コンピュータ・シミュレーション演習」などの講義や実習のほか、今年度は「実験体感コーナー」が新設され、3Dプリンタで実際に模型を作成し、LEDで光送信機を制作し光通信を行うなど参加型のプログラムが人気でした。

海外留学相談コーナーでは、アメリカ・ロシア・中国・韓国・カナダで留学を体験した学生から、制度の特色や海外生活の体験談が語られました。部活サークル紹介では、軽音部・ダンス部がパフォ



県警サイバーボランティア

本学学生2人が選ばれ活躍



新潟県警の今年度のサイバーボランティアに、本学情報システム学科3年の西村翔吾さんと津野和彦さんの2人が選ばれ、7月11日に県警本部で委任状・登録証の交付式と研修会が行われました。研修会に併い、サイバー犯罪の手口も複雑・巧妙化しています。県警サイ

違法・有害情報を発見し通報

情報システム学科3年 西村翔吾

私がこのボランティア活動に参加しようと思った理由は、大学で学んできたことを生かせる学外活動をしたと考えたからです。また、時間や場所の制約を受けずに活動を行えるということも決めた一つでした。活動の内容は主に、インターネット上の違法・有害情報を発見し、インターネットホットラインセンターへ通報する、サ

バー犯罪対策課では犯罪の取り締まりと予防対策を強化し広報活動を展開していますが、サイバーボランティアはインターネットやソーシャルメディアサービス（SNS）などのサイバー空間の健全化と規範意識の向上を図り、安全で安心できるサイバー空間を確保するために、サイバーパトロールや広報啓発活動を行うボランティアです。

アルビレックスプロジェクト

Q. どんな活動に参加していますか。
A. ホームタウンである新潟市にオレンジ色を増やし、市民にスポーツを振興しようという「ホームタウンオレンジプロジェクト」に参加し、サポーターのみなさんと新潟駅でポスター掲出活動や、学生有志でスタジアムイベントのお手伝いをしています。

Q. 活動を一言でアピールを。
A. クラブと共に闘い、クラブのために何ができるのか、学生ならではの視点で考え、行動に移していく。そんな活動の中



運命共同体と、学生ならではの視点で

Q. あなたにとってアルビレックスとは。
A. 「運命共同体」です。苦しい時も、最高の瞬間も、迎えるときはいつも一緒。生涯応援し続けます。（相馬一輝・情報システム学科4年）

サークル紹介 Q&A

Q. サークルを作ったきっかけは。
A. 初めはアルビの試合も観に行ったことがありませんでした。しかし、J2時代からのサポーターや、他大学のプロジェクトメンバーと関わっていきうちに、代表としてやっていこうと決意。現在は2代目代表が頑張ってくれています。

藤瀬 武彦(情報システム学科・教授)

・(2015年8月26日)「間欠的短時間最大自転車ペダリングの作業成績に及ぼす60%酸素吸入の効果」日本体育学会第66回大会(国士舘大学世田谷キャンパス)

3) 委員・社会的活動・記事・その他

臼井 陽一郎(国際文化学科・教授)

・(2015年7月4日) EUJ関西アカデミック・シンポジウム「EUの規範政治」司会兼コメントーター(関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス125周年記念講堂)
・(2015年7月17日) 日・EUフレンドシップウィークシンポジウム「The Politics of Transatlantic Trade Negotiations-TIP in a Globalized World」コメントーター(早稲田大学西早稲田キャンパス9号館5階第一会議室)

佐藤 泰子(国際文化学科・契約講師(英語))

・(2014年9月20日～2015年6月30日) 新潟市シティプロモーション認定事業英語ガイドとして本学の学生と共に岩室温泉石瀬まちあるきガイドマップ英語版作成&7月発行(2000部)(岩室公民館他)

藤本 直生(国際文化学科・准教授)

・(2011年4月1日より継続) Asian EFL Journal, Associate Editor
・(2012年9月1日より継続) The Asia-Pacific Education Researcher, Springer, Occasional Reviewer
・(2012年10月1日より継続) British Journal of Education, Society & Behavioural Science, Occasional Reviewer
・(2013年1月10日より継続) English Scholars Beyond Border, Foundation Member

Zoom Up スーパード 研究室

身近に存在する、人、車、商品などの「流れ」の研究をしています。例えば渋滞や行列。これらは「流れ」が滞る（うまく流れない）ときに起こる現象で、時間や費用の無駄だけではなく、ストレスの原因にもなります。こういった問題に対し「こうしたらどうなるだろう」とさまざまな実験を繰り返して、改善案を探っていくのがこの研究室の特徴です。

この研究の中で私たちがずっと大事に使ってきた道具があります。それは「Arena」というシミュレーションソフトウェアです。これは例えるなら「鉛筆」のようなもの。鉛筆は、紙の上に文字を書いたり、計算をしたり、絵を描いたり、そして時には転がして答えを予測したり（今はもう、こんな光景を見なくなりましたが）。実はArenaもまったく同じ使い方をします。コンピュータ上にプログラム（文字）を書き、計算をし、アニメーション（絵）を動かして判断材料となる有用な情報（実験結果）を獲得します。



英語のソフトでシミュレーションモデル

私は、いつも学生たちの感性に驚かされています。これからも学生たちが描き出すシミュレーションの世界を楽しみにしていきたいと思っています。
http://www.nuis.ac.jp/~tokko/arena_models/index.htm

シミュレーションモデルを作るようになります。そして学生らしい発想力・想像力豊かな世界をコンピュータ上に描き出すのです。道具の使い方が分かった後は、気になる現場へと繰り出します。道路や橋、駅や空港、スーパーやコンビニ、喫茶店やレストラン等々、学生たちの興味はとどまるところを知りません。さまざまな角度から現場を調べ上げ、必要なデータを学生自らの足で獲得するのです。この現場のデータをシミュレーションモデルに注ぎ込み、実験の準備を整えていきます。こうした過程を経た卒業研究は、私のホームページの「研究事例」からもご覧いただくことができます。

今後はいよいよ、これらのデータを使ってシミュレーションモデルを構築し、実験を繰り返しながら、適正な混雑緩和策を探していくことになります。

コンベニアのアルバイトでレジを担当していると、お客さんの長い行列に遭遇しますが、曜日や時間、天気や気温、イベントやキャンペーンなど混雑の理由はさまざまです。そこで卒業研究では、アルバイトに入る前後の時間を有効に使い、時間帯別来店者数・品物選択時間・レジの精算時間・支払方法などを調べました。調査時間は日時を変えながら、延べ12日間19.5時間に上りました（2015.8末現在）。この調査結果から、来店者数は時間帯／天候／曜日の順に影響度合いが高いこと、ほとんどの時間帯で女性より男性が多いこと、女性は男性より品物を選んでる時間が平均で50秒ほど長いことなどが分かりました。また、支払方法は現金が全体の約89%、電子マネーが6%、クレジットカードが1%、その他（クオカードや商品券等）が4%でした。

「ハジメのレジのデータ収集
混雑緩和策のモデルを構築中
4年・笹崎梨紗

ゼミ生の卒業研究テーマ



小林 伊織

国際学部 国際文化学科 講師

担当科目 CEP、メディア英語、ゼミナール
研究分野 World Englishes (世界諸英語)
英語によるアジア文学

略歴 1995年7月 ハル大学 (英国) 東南アジア学部卒業
1998年9月 台湾TVBS国際ニュースセンター記者
2000年6月 国立政治大学 (台湾) 東アジア研究所修士課程卒業
2002年9月 台北ヨーロッパ・スクール (台湾) 国際バカレア教員
2003年2月 銘伝大学 (台湾) 英語センター専任講師
2009年4月 アテネオ・デ・マニラ大学 (フィリピン) 英語学・英語文学博士候補者
2015年7月 銘伝大学を退職



山田 裕史

国際学部 国際文化学科 講師

担当科目 国際協力論、国際組織論、ワークショップ実践論、国際研究ゼミナール、卒業論文
研究分野 東南アジア地域研究、国際協力論、比較政治学

略歴 2000年3月 関西外国語大学外国語学部英米語学科卒業
2005年3月 上智大学大学院外国語学専攻国際関係論専攻博士前期課程修了
2008年3月 上智大学大学院外国語学専攻地域研究専攻博士後期課程満期退学、博士 (地域研究)
2008年4月 上智大学アジア文化研究所特別研究員 (PD)
2011年4月 日本学術振興会特別研究員 (PD)
2011年9月 上智大学大学院外国語学専攻
2014年4月 東京大学大学院総合文化研究科グローバル地域研究機構持続的平和研究センター研究員
2015年4月 上智大学アジア文化研究所客員所員

新任教員紹介

教員の活動 (本人申告による)

1) 研究論文・図書

越智 敏夫 (国際文化学科・教授)

・ (2015年) 「Apocalyptic Memories and Subjective Movements: Differentiation by Political Power in Postwar Japan」 『Boundary 2, an international journal of literature and culture, Duke University Press』 42(3) 55-63

白井 健二 (情報システム学科・教授)

・ (2015年) 「Model of Production System with Time Delay using Stochastic Bilinear Equation」 『Asian Journal of Management Science and Application』 2(1) 13

2) 学会・研究会・講演等

上西園 武良 (情報システム学科・教授)

・ (2015年8月9日～8月14日) 「Study on Drinking All Corn Granules in Canned Corn Pottage」 19th Triennial Congress of the International Ergonomics Association (Melbourne, Australia)

小宮山 智志 (情報システム学科・准教授)

・ (2015年8月29日) 鈴木貴也 (本学学生) 他「女子学生のインターネット (SNS) を介した出会いの要因解明」 日本数理社会学会 (大阪経済大学)

佐藤 泰子 (国際文化学科・契約講師 (英語))

・ (2015年6月5日～6月7日) 「Poster Presentation: Effects of web-based cooperative peer feedback, forums, and workshop in Moodle system on Japanese college students' writing performance and their perceptions」 全国語学教育学会 (CALL) 2015 (九州産業大学)

「漢語橋」世界大会に本学から初出場

新潟予選会で優勝、中国・湖南省へ



中国語コンテストの「漢語橋」第14回世界大会が7月6日から中国・湖南省で行われ、本学から初めて神田張健さん（情報文化学科4年）が出場しました。同コンテストは、中国語を外国語として学ぶ世界各国の大学生が、中国語で自国文化を紹介するなどして交流の橋を築く世界最高峰のコンテスト。今年

最高のパフォーマンス披露

各国の友達と交流の橋を築く

情報文化学科4年 神田 張健

これまで2年間、新潟予選会を見学した折に、私には参加者全員がキラキラと輝いて見えました。中国が好きで、将来中国との架け橋になりたい者など私と同じ考えの人ばかりで「自分も参加して

は世界各地の予選を勝ち抜いた133人が参加、日本からは5人が出場しました。大会ではまずベスト30が選出され、ベスト15、10、6と絞られ最後に優勝者1人が決まります。残念ながら神田さんはベスト30突破とはならなかったものの、身振り手振りを交え、流ちょうな中国語で語る姿は、聴講者を魅了し、

方々を中国人の大学院生から教わるため新潟大学へ通い、羽織袴を一人に着られるように学校へ通い着付けの練習をしました。

世界大会で、私は自分の持つ最高のパフォーマンスを披露しました。が、世界の壁は高いという結果になりました。私は悔しい気持ちでしたが、今まで応援してくれた方に申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

世界大会には選ばれたからには、本気で参加しようと決意しました。文章の添削や発音の修正、抑揚の付け

第15回新潟・ロシア語スピーチコンテスト（6・27、クロスバルにいがた）で、本学学生は12人が参加して5年連続で上位入賞を果たしました。全国から学生などが挑戦して年1回開かれるコンテストに、今年は昨年を上回る28人が参加する激戦でした。最難関の一般（上級）の部で情報文化学科3年の金子修登さんが3位に入賞。入門B（中級）の部では同3年の小林開さんが3位に。また入門A（初級）の部でも国際文化学科2年の高橋佳那子さんが準優勝の活躍でした。今年は優勝は逃したものの複数名の上位入賞は5年連続、一般の部での入賞は2年連続の成績でした。

破れるほど辞書を引いた

情報文化学科3年 金子 修登



中央が金子さん

いるうちに翻訳のスピードは速くなっていました。私は「Ор Камчатки（三条からカムチャッカへ）」という題でスピーチをしました。

私は「Ор Камчатки（三条からカムチャッカへ）」という題でスピーチをしました。

ロシア語スピーチコンテスト

5年連続で上位入賞

私は昨年に引き続き2回目の参加ですが、あえて中級の部を飛び越して上級の部に挑戦しました。まだ直接ロシア語でスピーチ内容を考える力はないので、まず日本語の原稿をつくり、それをロシア語に翻訳するとい

湧源

編集後記に代えて

入試・広報委員長 小宮山 智志

「国際交流インストラクター・キックオフセミナー2015」が先日、開催された。新潟県国際交流協会から国際交流インストラクターとして承認された104名の学生は、自ら学んだ国際理解や留学体験を題材に、9月から3月にかけて県内の小・中・高校の児童・生徒にワークショップ形式の授業を行う。この試みは本学が10年前に国際交流協会と協働で開始したが、現在では敬和学園大学、新潟県立大学、上越教育大学にも参加していただき、県内全域に活動が拡大している。

情報化・国際化が進展する昨今では、教師が流す情報を一方的に受信する受動的な授業ではなく、主体的・能動的に情報を創造・発信する能力を身に付けるアクティブラーニングが推奨されている。ワークショップに参加する児童生徒は異なる価値観文化に触れながら、参加者お互いの意見に触発され、新しい考えを生み出すことを体験する。

企画する大学生は、参加者の興味関心に合わせて新しい発想が生まれる「場」を創り上げる。準備における半年間の仲間との議論の積み重ねもアクティブラーニングだ。さらにワークショップを実践することで、普段の大学での講義や留学直後では気付かなかった学びが生まれるのである。生徒・児童の学びの場としての、そして自分たちの学びの場としてのアクティブラーニングを「学生自身が創り上げるアクティブラーニング」だ。

この10年間で、延べ8000名のインストラクターが1万9000名の児童・生徒とワークショップを行った。彼らは本学の目指す「情報文化の創造とさらなる発展に貢献する人材の育成を通じて、世界平和の実現」をまさに成し遂げてくれると、この日の彼らの真剣な眼差しに、確信した。



ハバロフスク市文化団の「行と交流」

情報文化学部 3年 三浦 詩織

新潟市を訪れていたロシアのハバロフスク市文化団の一行が8月6日、本校（みずき野キャンパス）を訪れて、ロシア語を学んでいる学生たちと交流しました。1週間ほど滞在するプログラムの中で、せっかくの機会を有意義にと、新潟市国際課の計らいで行われまし

た。高校・大学生の一行とは、手つなぎゲームをしたり、自己紹介したりお互いに質問し合っているうちにすぐ仲良しになりました。楽器の演奏があったり、ロシアの伝統の輪になって踊る「ハラボード」を披露したりと、短い時間でとても楽しい時間を過ごすことができました。

お土産にいただいた飾り皿は、ナビ広場奥のギャラリーに飾らせていただいています。このような機会に出会うことができましたのは、ロシア語スピーチコンテストの会場で国際課の方に声をかけていただいたからで、非常うれしく思っています。今回に限らず交流の輪をさらに広げてい

タイから初めての研究生

私はタイのタマサート大学シリントーン国際工学部（SIIT）の卒業生です。大学ではエンジニアリング・マネージメントの勉強をしていました。実務での工学原理の適用に関するマネージメントの一種です。ビジネスに関して多くを学び、さまざまな例を分析し、ビジネスモデルを作成しました。また工学の分野では、どのように小規模の工場をデザインするか、またディスプレイなどについて勉強しました。

現在の私の研究は、食べ物に関する調査を行い、ケイキやお菓子と同様に新しいパンのレシピを作っています。健康志向のパンやお菓子をすることが好きですし、私の家族もまたベーカーリーのオーナーです。時々店で自分が作った商品を売ることがあります。大抵の

タンピッチャ・ゲイル・タコンサプさん



も備わったものを作る必要があります。この事は、まあありません。商品そのものはずいぶん、次に健康、とのスタイルと同じように、考える顧客を抱える東京のビジネススタイルも発展させていけるのです。以前タイで、

を発見したのですが、一般的にタイのパン職人たちはこれらの要素を本当に気にしてはいないのです。そこで私は日本に行き、プロの人たちがどのように経営しているのか学ぼう、と思いました。卒業から約2年たった頃、私の担当教授だった方から新潟国際情報大学で研究しないか、とお話をいただきました。当時その教授は私がタイのパンや洋菓子製造の質を向上させたいこと、さらに日本へ行きたいと思

パンとベーカリービジネスを比較研究

した。日本のスイーツやパンは、その高い品質と独特性で大変有名です。特に日本の食品製造の技術は際立っていますので、私はこのプログラムに参加することを決めました。

研究に加え、私はここで生活をとても楽しんでいきます。私が日本語をあまり話せなくても、新潟の人たちはとてもフレンドリーです。皆さんにとっても助けられています。それに新潟のお米は非常においしいです！タイからの学生がもっと新潟に学びに来てくれることを願っています！

新潟到着後すぐに、日本とタイにおける、パンとベーカリービジネスの比較研究の調査を開始しました。タイに比べ新潟のパン屋の多くが、例えばキッチンや製造工程においてより専門的です。

「留学体験レポート」

本学ホームページに新設

本学のホームページ(HP)に「留学体験レポート」が新設されました。毎年実施している「派遣留学制度」「交換留学制度」および「海外夏期セミナー」で、学生たちがアメリカ・ロシア・中国・韓国・カナダの5カ国の大学に派遣されています。この本学の国際交流活動をより多くの方々に知っていただけるように、留学に参加した学生の体験談や報告書など学修成果を紹介する新ページです。

今後は滞在日誌なども開設し、留学生活の様子を文章や写真で随時お知らせしていきたいです。

<http://nuis.sakura.ne.jp/>

平成28年度 高校長推薦・帰国生・外国人留学生・社会人入学試験日程

入 試 区 分			出願期間(消印有効)	試 験 日	試験実施教科・科目	
推薦入学試験	高校長推薦	指定校制※1				
		I 期	公募制(教科成績重視型)	27年11月2日(月)～11月10日(火)	27年11月15日(日)	面接・小論文
			公募制(資格・検定重視型)			
			公募制(スポーツ推薦)			
	II 期	公募制(教科成績重視型)	27年12月1日(火)～12月15日(火)	27年12月20日(日)	面接・小論文	
		公募制(資格・検定重視型)				
帰国生入学試験 外国人留学生入学試験 社会人入学試験		27年11月2日(月)～11月10日(火)	27年11月15日(日)	面接・小論文		

※1 本学が指定校と定めた高校長あてに推薦依頼を行います。○詳細は本学学生募集要項でご確認ください。

募集 情報文化学部 情報システム学科
学部 国際学部 国際文化学科

入学時の奨学金

高校長推薦(指定・公募)入学試験合格者
合格後に希望者に対し2月28日「奨学金試験」を実施し、その結果、成績上位者に年間授業料の半額を給付します。

◎入試と奨学金の詳細については入試・広報課までお問い合わせください。

TEL 025-264-3777 FAX 025-264-3780
E-mail nyushiweb@nuis.ac.jp

今年のテーマは「GLOCAL!!」

紅翔祭

10/10(土)・11(日)

つながりを大切に

紅翔祭実行委員長 情報システム学科2年 新村 蓮

吹く風が涼しくなり、次の季節の訪れを感じさせます。そしてその季節の真ただ中の10月に、今年も紅翔祭を開催します。今年も模擬店の応募が多数あり、もちろん小さなお子さまやご年配の方々にも楽しんでいただけるような多種多様なイベントも盛りだくさんとなっております！そして、立場は違えどいろいろな人が協力している様は素晴らしいと感じられる、そんな大学祭を実行委員会一同でつくり上げていきたいと考えていますので、ぜひご来場ください！

主なイベント

10日(土)

- NUIS Theater
- 合唱コンサート
- 吹奏楽部コンサート
- Dancer's Party vol.14
- アカペラライブ2015



ナビット

本学のマスコットキャラクター「Nabbit」です。紅翔祭で見かけたら、ぜひ声を掛けてください！

10日(土)

11日(日)

- 裏千家茶道部茶会
- NUIS Eco festa Season6
- 写真展示
- Action Painting!
- アルビだよ! 全員集合!2015
- ヌイプロ展示会
- 石川研究室展示
- MMCの名刺屋さん
- 卒業成果発表
- 紅翔祭茶会
- 臼井クラフトアートカフェ
- NUIS gpb project
- JABEE説明ブース
- UKIUKIゲーム広場
- ボードゲーム交流会
- ROCK IN NUIS vol.4
- ドキ☆ドキ♡ タイムウォッチッチ
- 教職員の写真展
- 模擬店多数出店
- みずき野西自治会 秋の文化祭



文化講演会

演題 「逆転的幸福論

～低いハードルで人生を乗り越えろ～

講師 蛭子 能収 氏

漫画家・俳優

開催日 10月11日(日)

13:30～15:00(開場:13:00)

会場 新潟国際情報大学 本校体育館

定員 先着600人(無料)

申込方法 はがきに「蛭子能収講演会申込」・郵便番号・住所・氏名・電話番号・年齢・聴講人数(上限5名)・学籍番号(本学学生のご父母の方のみご記入ください)をご記入のうえ、下記へ。

宛先 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1
新潟国際情報大学 文化講演会 係



プロフィール

えびす よしかず(1947年10月21日生まれ。長崎県出身)

〈映画〉

2000年「学校Ⅳ」山田洋次監督
2001年「ウォーターボーイズ」矢口靖監督
2005年「蟬しぐれ」黒土三男監督
2006年「寝ずの番」津川雅彦監督
2007年「エクステ」園子温監督
「二十ニオの別れ」大林宣彦監督
「自虐の詩」堤幸彦監督
「マリと子犬の物語」猪俣隆一監督
2009年「ラビボ」GOEMON
2011年「はやぶさ」堤幸彦監督
2012年「ALWAYS三丁目の夕日'64」山崎貴監督
「テルマエ・ロマエ」武内英樹監督
他、テレビ、ドラマに多数出演

〈単行本〉

●漫画
「笑う悪魔の黙示録」
「いかすバカウマ王国」
「俺は大丈夫」蛭子漫画
「黒いギャングラー」「これは何だ!!」
「私立探偵エビスヨシカズ」
●エッセイ集
2007年「こんなオレでも働けた」
2008年「くらたまのえびす顔」
2009年「えびすピンゴ」
2014年「ひとりぼっちを笑うな」
2015年「蛭子能収のゆるゆる人生相談」
「芸能界 蛭子目線」

★この講演会は、父母会およびみずき会(同窓会)の共催事業です。

★個人情報については、入場整理券郵送の目的以外に利用はいたしません。

10日(土)

11日(日)

入試相談会

模擬店スペースの一角において、今年度最後の「個別入試相談会」を開催します。推薦・一般入試など、どんなことでも気軽にご相談ください！



11日(日)

みずき会(同窓会)

イベント

もちつき大会

今年も「もちつき大会」を行います。ふるってご参加ください！
【会場】学生会館 1階(学生ラウンジ) 【時間】11:00～

10日(土)

ゲストライブ



ハルン
パフォーマー
Jin

1回目/11:00～11:30 中庭
2回目/13:00～13:30 中庭
3回目/15:00～15:30 特設ステージ

11日(日)



ぼこびー

13:00～ 特設ステージ